

「民族共生の象徴となる空間」整備による白老町活性化推進会議

## 第 1 回 幹 事 会

平成 26 年 2 月 25 日（火）

15:00～17:00

白老町役場第 2 会議室

### 次 第

- 1 開 会
- 2 副町長あいさつ
- 3 議 事
  - (1) 経過報告
    - ① 総会の議決について（資料 1）
    - ② 第 1 回理事会の議決について（資料 2）
    - ③ 組織の概要について（資料 3）
    - ④ 国の機関について（資料 3-2）
  - (2) 各組織の運営について（資料 4）
  - (3) 各組織の活動及び事業計画について
    - ① 活性化に向けた推進予定（資料 5）
    - ② 庁内整備促進検討委員会資料（資料 5-2）
  - (4) そ の 他
    - ① 先進事例
    - ② 今後の予定
- 4 閉 会

「民族共生の象徴となる空間」整備による白老町活性化推進会議  
第1回 幹事会

平成 26 年 2 月 25 日 開催報告

会議での意見

- A : 議会は理事会に参加していて幹事会や部会には参加しないのはどうか。  
町 : オール白老として理事会に参加してくれているが、幹事会や部会となると事業化のこととなり、議会の公平な立場としては参加できないとのこと。(議会の意向)
- B : 駅北側の整備は木工場もあり都市計画の発想で考えてよいか。  
町 : 基盤整備推進部会にある都市計画及び再開発について検討する項目としており、部会で協議することとする。
- C : 整備検討(案)にあるキャンプ場に向かう町道の拡幅やポロト踏み切り北側の道路、さらにポロト温泉に行く道路の課題を整理していくことも大事でないか。  
町 : 問題点を整理し今後の整備に反映できるように努める。
- D : ポロト温泉は廃止となるのか。何らかの方法で利活用することになるのか。  
町 : 国の構想では温泉施設の考えはないとのことであるが、場所を変えて町や民間の活力によって温泉を利用できないか検討することとなる。
- E : イメージ(基本計画)が見えるのはいつころか。また、専門部会に検討及び実践とあるが実践とは何を意味するのか。  
町 : 博物館の基本計画は26年度に公園の土地利用は27年度に基本計画を策定の予定となっており、皆さんに提示できるのは27年度になると思われる。国の組織運営専門部会の委員として副町長が参加するので今後情報提供していきたい。  
また、実践とは例として部会で検討された土産品や観光プロモーションを事業化させることを意図として検討の概要に取り入れている。
- E : 現時点での想定でしかないが、町としての考えはまとめる必要があると思う。この会議では、民間活力を利用し、力を出し合いたいという考えでよろしいか。  
町 : この1~2年は方向性を決め、視察調査などを行ない、事業想定することになる。自己負担になるが、他の博物館やまちづくり事例を視察することも予定している。
- 町 : イランカラプテ・キャンペーンのサポーター募集について、皆様の団体・企業についての登録・協力をお願いする。
- 町 : 新年度に入って、早い時期に関係者全員が集まって、情報共有や取組み内容を理解したり、他の情報などを聞く講演会などを準備していく。